

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこクラブ博多駅東		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 20日 ~ 2026年 3月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年 2月 20日 ~ 2026年 3月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	余裕を持った職員配置数を行い、児童それぞれの特性に合わせた細やかな個別支援を提供しています。 スタッフの定着率が高く、長く在籍してくれているスタッフも多い。熟練のスタッフが多い為、個別支援・集団支援の質が高い。	個別活動や集団活動等、児童や状況に応じて適した支援が出来る様、職員配置に工夫を重ねています。	職員の成長やスキルアップをサポートし、より専門性のある支援を提供する為、ミーティングや研修等の指導・教育の取り組みを強化していきます。職員も一緒に成長できる施設を目指しています。
2	児童の年齢や成長・特性に合わせ、個別課題、個別対応を行い、工作・ビジョントレーニング・ダンス・食育・SST・体幹トレーニング・移動支援(訓練)・買い物学習等、様々な活動支援を行っています。 中高生の専用のスペースを用意していることで、専門性の高い療育を行っている。	活動プログラムが固定化しないよう、様々な活動を通して、お子様の成長のサポートを行っています。日々のコンディションにも配慮し、安心して過ごせるように支援を行っています。	より個人の能力に合わせた活動を取り入れ、成功体験を感じてもらい、自立に向けての取り組みを強化していきます。高学年支援について、更に社会性を中心とした支援が充実するよう工夫していきます。
3	定期的に臨床心理士、言語聴覚士の講師を招き、より専門性のある知見からのアドバイスを行う療育会等、保護者を含めた家族への支援も行っています。	療育会による支援の内容や取り組みを、施設間で共有、職員にはミーティング等で共有を行っている。議論を通じて更に多様な意見を取り入れ、スキルアップを図っている。	療育会での内容や取り組みをケーススタディとする等、職員の成長やスキルアップにつなげるべく研修や勉強会の機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	地域の子どもの対しての接点が出来ていない。支援するにあたって地域の子どもとの交流を望む声が少ない。	保護者の意向を尊重しつつ、地域の子どもの、どこまでの活動を行えるかを思索し、対象事業との接点を見直していく。
2	父母の会の活動や、保護者同士の交流の機会が少ない。また、きょうだい向けのイベントの開催が出来ていない。	保護者個別の相談等は丁寧に行えているが、家族同士の交流ができる場の提供はあまり出来ていない。バザーを開き、保護者同士の親睦を深められる行事は行ったことがあるが、一部の保護者にしか浸透していない。きょうだい向けのイベントは開催出来ていない。	今後、保護者の意見も取り入れながら、保護者同士の交流・きょうだい児童の交流ができる場を提供できるよう立案していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たけのこクラブ博多駅東

公表日 2026年 3月 19日

利用児童数 38

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	3%		3%	他の事業所さんと比べても広いと思います。受け入れ人数や立地場所、建物にもよると思いますが、若干せまさを感じます。	静かに過ごすスペースや体を動かすスペースを分けて確保しています。休日等は外での活動も行い、活動の幅を広げております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	94%			6%	帰宅時、子どもが満足しているので適切であると思います。	日頃から職員の配置数は、基準を満たすように人数を配置すると共に、個別対応に必要な児童にも対応できるようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%			6%	わかりやすい環境になっていると感じます。	見通せる室内でわかりやすくなっております。車いすの児童はいない為、バリアフリー化にはなっておりませんが、転ばない様、段差を少なくする配慮を行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	97%			3%	生活しやすいように考えてくださっています。	療育後の日々の清掃をかかさず行い、清潔な空間を保っております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				良く関わって頂いています。成長を感じることが多いので、とても良い支援を受けていると満足しています。	こどもの特性等、月1回のミーティング時に話し合い、情報の共有を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%			6%	適切に支援してもらっていると思います。	支援プログラムを元に、本人支援・家族支援等取り組んでおります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				適切に支援してもらっていると思います。	アセスメント後、職員でのミーティングを行い、個別支援計画作成を行っております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				適切に支援してもらっていると思います。	保護者様との話し合い後、本人支援・家族支援・移行支援等の目標を設定し、具体的な内容で支援出来る様取り組んでおります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				適切に支援してもらっていると思います。	利用者のニーズに合わせたサービスを提供し、満足してもらえるよう取り組んでおります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				週替わりどころか、日替わりで活動プログラムが組まれており、きめ細かいと思います。	ZOOMや様々なツールを導入し、他施設との交流等、幅広い活動プログラムを行うようにしています。 工作・ビジョントレーニング・ダンス・食育・体幹トレーニング・移動支援（訓練）
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	87%	3%		10%	系列の放デイさんとの交流はあったように思います。	基本的には活動する機会はないが、公園活動時など、機会があれば活動を行います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				説明して頂きました。なにかあった時は個人的にも対応していただいています。	契約時、丁寧に時間をかけて説明しております。質疑応答を行い、質問が残らないように対応するように心がけております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				丁寧に説明していただいています。	放課後等デイサービス計画作成後、保護者様に確認してもらい支援を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	91%	3%		6%	行われているかもしれませんが、親御会で参加は出来ていません。	家族支援として、言語聴覚士の講師を招いての相談会を行っている。機会があれば課題を設定し、研修会として取り組んでいきたい。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				連絡帳も詳しく記入していただいているので、その日の活動、過ごし方が知れて助かっています。	連絡帳での情報の共有、送迎時に保護者様との間で情報交換を行っています。気になる課題等は保護者様に連絡し、対応を決めて療育に反映させております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	97%			3%	定期的に話し合いの時間を設けていただいています。月に1回療育会を設けてくださっています。(親都合で未参加)	モニタリング時に、ご相談があれば育児に関する助言等を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				されていると思います。職員さんのこと大好きです！	保護者様の様々なニーズに対応できるように取り組んでおります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31%	26%	3%	40%	保護者さん(他のご家庭)とは会ったことがないです。家族イベントがあったら行ってみたいと思います。同じ悩みを持つ保護者の方とお話しする機会があったらうれしいです。兄弟向けの	以前、講師を呼んで、進学のための保護者様講習会を開催していた。機会があれば提案を行っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	97%			3%	相談内容などの配慮はよくされており、ます。	苦情の相談含め、受付窓口の設置を行っております。保護者様には契約時に窓口の説明を行い、相談があった場合、迅速に職員の方でミーティングを行い対応させていただきます。ありがとうございます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				なにかあった時は個人的にも対応していただいています。	子ども、保護者様間の情報の共有が出来る様、連絡帳や、帰宅時の報告等でお伝えさせていただいている。電話での対応も行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	80%	10%		10%	発信ではなく、連絡帳や帰宅送迎時の訪問の際等で連絡されています。ホームページ、SNSはあまり見ていないので、特に気にしてはいないです。	毎月行事予定を配布し告知しております。活動のプリントを作成し配布しております。口頭・電話での連絡も行っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				されていると思います。	管理責任者が情報管理を徹底し、情報漏洩防止に努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%			6%	ご説明等ちゃんと受けております。よく様子等も伝えて下さいます。	各緊急時に備えてスタッフへ対応徹底を行い、保護者様への周知を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	91%	3%		6%	ご説明等ちゃんと受けております。よく様子等も伝えて下さいます。	年に2回以上定期的に予定表でお知らせした上で実施しています。避難場所や場面を想定した避難訓練を実施し、実施後は連絡帳に記入し、保護者様にわかりやすく伝えていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	97%			3%	ご説明等ちゃんと受けております。よく様子等も伝えて下さいます。	安全計画を元に、支援に取り組んでおります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				ご説明等ちゃんと受けております。大きな事故はないので不明ですが、小さな怪我でも送迎時に伝えて頂いています。	大きな事故はありませんが、送迎時に保護者様に状況の報告、緊急の際はすみやかに電話連絡を行う体制を整えております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				安心して通っています。	保護者様と日々の情報共有を行うことにより、安心して通えるように配慮しております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%				基本は楽しみにしています。情緒があるので気持ちのならない日もありますが、日々はもちろん、イベントを楽しみにしています。楽しみにしていると思います。	保護者様と日々の情報共有を行うことにより、支援活動の内容を考え、支援の向上を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				ひとりひとりの児童の事をよく見ています。いつも寄り添っていただき、ありがとうございます。	各児童の課題に対して、達成感を持てるように支援を行い、できる事を増やしていける取り組みを行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たけのこクラブ博多駅東		公表日		2026年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		十分なスペースを確保している。静かに過ごすスペース、体を動かすスペースをそれぞれ確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		児童の安全に配慮した配置を行うようにしている。	急に動く児童もいるため、安全の確保に努める。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		全体を見渡せる室内になっている。段差を減らす・マットを張る等の対策を行っている。	車いす・肢体不自由の児童がいませんが、段差を極力減らすようにレイアウト等に考慮していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		療育後の清掃、静かに過ごすスペースと、体を動かすスペースなど、用途に合わせた部屋の活用ができています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		学習室や午睡室など、クールダウンできるスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		月1回のミーティングを行い、児童の情報共有に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者様からの評価やご意見を精査して、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		月1回のミーティングを行い、児童の情報共有に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		月1回の臨床心理士の先生によるアドバイスや意見等頂き日々の業務に努めている。	ミーティング時に、アドバイスや意見の共有を行っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部の講師による資質向上の研修会等を定期的に行っている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		作成・公表出来ている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		アセスメントで知り得た情報を元に、特性に応じた内容にて計画書を作成するよう努めている。	個々の利用者のニーズを検討したうえで、今後も新たな支援計画書を作成していきたい。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		ききとり用紙やミーティングを通して意見交流を行ったり、1人ひとりの児童にどのような視点をもって関わっていくか、方向性を情報共有することが出来ている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		月1回のミーティングを行い、児童の情報共有を行い、計画に沿った支援に取り組みめるように努めている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		アセスメントで知り得た情報を元に、日々の行動観察を行い、特性に応じた対応出来るよう努めている。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		アセスメントで知り得た情報を元に、放課後等デイサービス計画を作成している。本人支援・家族支援・移行支援など、特性に応じた内容にて項目別に設定している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		様々な活動を取り入れるため、スタッフと意見交換を行い実行するように努めている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		児童の特性や年齢に応じたプログラムを行い工夫している。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		児童の状況や、保護者様からの情報を元に、個別、集団活動を取り入れている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		当日の利用児童に応じた支援内容の打ち合わせをしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		個々に振り返りと、定期的に情報共有を行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		連絡帳の記録内容を元に、支援内容及び業務内容を改善している。	検証なども行っている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的にモニタリングを行い、成長に応じて必要な部分を都度改善している。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		活動に取り入れている。	支援内容について、月1回のミーティングで話し合い、自立支援・日常生活支援を周知していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		成功体験の積み重ねにつながるような支援を取り入れるようにしている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が必ず参加している。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		個別対応で医療機関との情報の共有等を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		学校と話し合い、引き渡し場所・方法は明確にしている。学校の予定が変更になる事も考慮し、連絡確認を徹底している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		相談支援員からの情報共有や必要な場合は関連する施設から情報をいただくよう務めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		必要な児童には、情報共有できる体制を整えている。	お互いに情報を共有することで、今後のつながりを深めていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	児童発達支援センターとの連携は、対象者の年齢もあるせいか、行われていない。	体制を整えば参加を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	地域の他の子どもと交流する機会や、児童館を訪れる機会は少ないと感じる。関連施設との交流はあるため、機会を増やすとより色々な人と関われると考える。	交流できる機会があれば交流を行うことも検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10%	90%	協議会からの参加依頼（案内）があるときは参加している。	体制を整えば参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時にお伝え、連絡帳への記載・電話など常に共通理解を持てるように努めている。	要請があれば積極的に参加していく。
保護者へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	80%	言語聴覚士の講師による、保護者様相談会を行っている。	機会があれば、課題を設定し、研修会を行ってきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に丁寧に行うようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		保護者様からのアセスメントで聞き取り、指示に基づきサービス提供を作成し対応を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		放課後等デイサービス計画作成後、保護者様に確認してもらい支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談があれば助言を行っている。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	コロナで行えない時期もあったが、定期的に療育会を行い保護者様同士の連携の場を設けていた。	保護者会の開催は、状況を見て行えるように検討していく。	

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		受付窓口の設置を行い、迅速かつ適切な対応をし、改善に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月予定表を配布し、行事予定を伝えている。日々の活動だけでなく、集団活動や行事では、連絡帳だけではなく、その時の様子を写真で共有することが出来ている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		金庫管理・鍵付きロッカー等、情報管理を徹底して行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		分かりやすい方法を常に配慮し丁寧に行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	近所の地域住民と関わる機会は少ないが、市の行事に参加することがある。	地域住民の招待等、今後検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		保護者様には契約時に行っている。職員には入社時に説明を行い、いつでも閲覧できるようにファイリングしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		定期的に行っている。	今後も様々なことを想定した訓練を検討し、実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		アセスメントや毎月のミーティングで情報共有を行い、状況の確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		アレルギーに関することは、全員で情報共有を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を元に支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に丁寧に行うようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ミーティング内で取り上げて共有し、作成している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		ミーティング内で行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		保護者様からのアセスメントで聞き取り、指示に基づく対応を行っている。		